

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 05-03-01	事務事業名 心身障害者福祉手当支給事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
-------------------	------------------------	----------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	心身障害者福祉手当を支給することにより、心身障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	都制度の手当と都制度非該当の方を対象とした市制度の手当がある。①【都制度・月額15,500円】20歳以上で、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性まひ、進行性筋萎縮症の障害のある方。②【市制度・月額6,500円】都制度に非該当で、身体障害者手帳1・2級、愛の手帳1～3度、脳性まひ、進行性筋萎縮症の障害のある方。③【市制度・月額5,500円】身体障害者手帳3・4級、愛の手帳4度の障害のある方。各制度とも所得・年齢等の支給制限あり。平成22年度末における都制度受給者は1,653人、市制度受給者は1,400人となっている。	
	事業開始時期	昭和49 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		402,646	402,064	401,206	401,086
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		308,776	306,249	305,738	305,784
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		93,870	95,815	95,468	95,302
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	2,424	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	405,096	404,488	403,630	403,536
単位当たりコスト (E)=(D)/(各年度末の受給者数)	千円	133	133	132	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①各年度末の受給者数	実績値 人	3,041	3,030	3,053	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 各年度の支給額	目標値 千円				
	実績値 千円	402,553	401,711	400,845	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 端数切り上げ					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	意見の集約は行っていない。65歳以上で新規に手帳を取得した場合、手当が非該当となることは不公平といった意見は寄せられる。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市中24市が市独自の手当額支給。 平成22年度手当比較＝身体障害者手帳4平均額約6,700円(西東京市5,500円:24市中14番)・身体障害者手帳3級平均額約7,200円(西東京市6,500円:24市中15番)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 手帳を根拠にした手当ではないが、西東京市難病者福祉手当条例の支給要件の該当者は難病者福祉手当の支給がある。

事業コード 05-03-01	事務事業名 心身障害者福祉手当支給事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
-------------------	------------------------	----------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>経済的支援を行うことで心身障害者の福祉の増進を図るという目的に沿った事業である。事業内容・実施方法については標準的なサービス水準であり、所得制限等は都制度に準拠している。心身障害者の福祉の増進を図るため今後も継続して実施する必要があり、西東京市の市制度の手当額は26市中ほぼ中間の位置づけであるため、現状維持が妥当と考える。</p> <p>この制度(市制度)については、障害者の福祉の増進を図ることを目的としているためこのまま継続実施と考える。</p> <p>なお、難病者福祉手当との関連において、難病患者等という特殊性から支給制限を設けていないが、26市中15市は併給制限を実施している状況もあるため、今後難病者福祉手当との調整を図る必要がある。(心身障害者手当と難病者手当併給該当者約380人)</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>心身障害者の生活基盤の支援を目的とする事業であることから、制度の見直しには一定の時間が必要と思われるが、市制度における支給対象や支給額の他、難病者福祉手当との併給などについて、他団体の運用などを参考にしつつ、制度のあり方を包括的に検討する必要がある。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、事業費の75%以上を占める都制度による手当支給をベースとして、都制度の非該当者に対する市の独自補助を付加したものであり、今後も継続することが妥当である。ただし、併給関係のある難病者福祉手当を見直すに当たり必要な場合には、本手当も見直しを行われたい。</p>